

1. 件名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日時：令和3年9月21日 14:00～16:30

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官、和田専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤防災専門職、

日本原子力研究開発機構

新型転換炉原型炉ふげん安全・品質保証部 次長 他7名

5. 要旨

日本原子力研究開発機構から、令和3年10月15日に予定されている同機構ふげんにおける原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ

・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[D0(実行)]に関する内容
原子力規制庁より、二部制訓練を採用する場合、第二部訓練の趣旨に鑑みて合理的な運用を行うよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と日本原子力研究開発機構の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：令和3年度新型転換炉原型炉ふげん総合防災訓練について
(案)